

キャンプファイヤー



1 活動のねらい

自然の中で炎を囲みながら自己を見つめ直したり、仲間とレクリエーションを行い一体感を育んだりします。

2 活動の概要

闇を照らす炎の神秘的な灯りの中で、火を迎え・送るセレモニー、炎を囲み演じるスタンツとレクリエーションを、参加者の仲間意識を深め、感動と思い出を刻む活動です。

3 人数・時間・場所

- (1) **人数・場所** A営火場 200名程度（電源あり）
 B営火場 100名程度（電源なし）
 C・D営火場 50名程度（電源あり）
- (2) **対象** 年齢は問いません。
- (3) **期間** 5月～10月
- (4) **時間** 1時間～2時間程度（18:30～20:30頃まで）
- (5) **料金（薪セット）**



種 類	内 容	目 安	金 額
キャンプファイヤー 大セット	・丸太20本（長さ90cm程度） ・たき付け薪30本 ・灯油1L	2時間程度 100名以上	6,000円
キャンプファイヤー 中セット	・丸太16本（長さ90cm程度） ・たき付け薪20本 ・灯油1L	1～1.5時間程度 100名以下	5,000円

4 準備する物

区 分	内 容	備 考
団 体	・マッチ等 ・トーチ ・懐中電灯 ・音響設備・火の神衣装 ・音楽CD等	・薪や灯油の持ち込みは可能です。 ・薪セットは食数票で注文してください。
交流の家	・土のう袋 ・音響設備（貸出可） ・火の神衣装（貸出可）	・土のう袋は入所受付時に事務室で配布します。

5 引率者の役割

項 目	内 容
安全指導	火の取り扱い、後片付けの注意喚起
事故発生時の対処	けがや事故が発生した場合の連絡（事務室）
清掃指導	ファイヤーサークルの後片付け・消火確認・終了報告

6 交流の家職員の役割


- ・ 物品の貸し出しを行います。
- ・ 活動前に、安全管理の説明を代表者に行います。

7 指導の依頼について

希望する団体は、進行・レクリエーションの指導を依頼することができます。依頼する場合は、利用申込書と一緒に「指導依頼申込書」（ホームページ上に掲載）に必要事項を記入して提出してください。雨天の場合の代替プログラムは、キャンドルの集いまたはレクリエーションになります。

指導料は、講師1名につき7,700円（1時間30分）です。活動終了後に請求書を発行します。支払いについては、利用の手引き6ページを参照してください。晴天時・雨天時のみの依頼は不可。

8 活動の流れ

活動の流れ		内容	備考
事前	指導依頼	・「指導依頼申込書」（指導依頼の場合）	・利用申込書と一緒に提出する。
当日	会場準備	・営火場に業者が薪を搬入 ・薪の組み上げ ・火床から5m以上離れた場所に丸太イスを置いて座席を設置（C、D営火場） ・音響機器の使用方法確認	・薪セット購入の場合、食数票で注文する。 再生リスト「野外活動」 ○キャンプファイヤー 準備と片付け
	活動	・営火（儀式、レクリエーション等）	
	活動終了	・営火場の消火(水をかけ消火)確認 ・灯油容器と借用物品の返却	
翌日	後片付け	・灰と燃え残りは、土のう袋に入れて <u>指定の場所に運ぶ。</u> 〔下記マップに記載〕	・受付時に配付された土のう袋を使用すること。ビニール不可。

9 実施及び安全管理上の留意点

- 周辺には屋外灯が少ないため暗闇で転倒する可能性があります。実施前後の注意喚起をお願いします。
- 薪を注文した場合は、各営火場の薪置き場に用意しますので、団体で薪を組み、準備してください。
- 雨などで薪を濡らすことのないよう、実施直前に薪を組み上げるようにしてください。
(荒天中止の場合、薪が濡れていない・束をほどいていない・灯油をかけていない場合は返品可能です。)
- 風速5m/s以上または雷活動動2以上は中止とし、荒天時プログラムへの変更をお願いします。
風向きを考え、火災ややけど等に注意してください。実施判断は代表者打ち合わせで報告してください。
- 灰になるまで燃やし切り、水をかけて完全に消火したことを確認し、事務室に終了報告をしてください。
- 灯油のみを購入希望の場合は、実施当日の午前10時までにご連絡ください。時価で販売します。

注意点

- A 営火場**は電源あり、水場あり、ボックスの中が薪置き場
- B 営火場**は電源なし、水場あり、ボックスの中が薪置き場
- C 営火場**ではグラウンド保護のため、各ベース付近及び外野部分は使用しないようにお願いします。
プレハブ倉庫内が薪置き場。電源あり、水場あり
- D 営火場**ではフィールド内を使用しないようにお願いします。
グラウンドトイレ脇に電源あり、水場あり、薪置き場あり

